



DAIKO 取扱説明書

太光電機株式会社

保存用

111-03E

工事店・電器店様へのお願い

この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

■はじめに

この器具をご使用になる前に、必ず本説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を充分にご理解ください。

安全に関する事項は、本説明書の「安全上の注意」または器具本体に貼付しているラベルの△警告と△注意のマークによって、特に注意を引くように表示しています。

△警告 誤って使用しますと、事故により（例）使用者が重傷を負う危険があります。

△注意 誤って使用しますと、使用者が傷害を受けたり、物的損害の発生が想定されます。

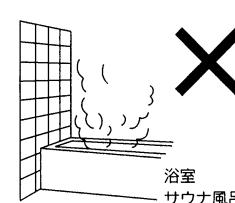
△警告 △注意 マークの内容を厳守し安全・快適にご使用ください。

■安全上のご注意

△警告

この器具は、一般通常環境（本説明書用語欄参照）の屋内天井直付専用器具です。下記の使用環境・条件では、使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。

一般通常環境以外の所
湿気の多い所
屋外
水気のかかる所
使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、お問合せください。



交流電源をご使用ください。また、電源周波数は器具銘板に従って正しく使用してください。感電・火災の原因になります。（インバータおよび白熱灯器具は50Hz・60Hz共用です。）

電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用ください。ランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し感電・火災の原因になります。

三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合には、負荷のバランスをとり、ブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のものをご使用ください。焼損の原因になります。

電動機等を使用する電源回路には、器具を接続しないでください。高調波と過度の電圧変動により、焼損・不点の原因になります。

△警告

火気等の近くでは、使用しないでください。落下・感電・焼損の原因になります。



空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。

取付けの際は、器具各部にヒビ、割れ、カケ等の異常がないことをご確認のうえご使用ください。落下の原因になります。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。落下・感電・火災の原因になります。

屋内配線は、本説明書に従って確実に接続してください。接触不良により感電・焼損の原因になります。

配線部品を使用する場合は、破損していないことを確認のうえ使用してください。落下・損傷の原因になります。

取付方向は、器具本体表示または本説明書に従って正しく施工してください。感電・火災・ケガの原因になります。

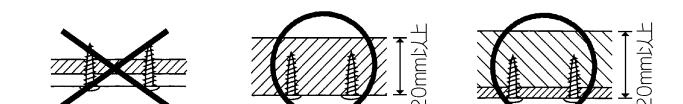
木ネジによる器具取付けは下記のように行ってください。誤った施工をしますと、落下の原因になります。

取付部の強度が弱い場合には、補強材で補強してください。

取付部、補強材の材質は、杉、またはこれと同等以上の強度を有するものをご使用ください。

取付部、補強材へのネジ埋込み寸法は、20mm以上となるように取付けてください。

器具は補強材の板目、柾目面に取付けてください。既に使用されたネジ穴の再利用は、しないでください。



器具の改造、部品の変更は行わないでください。落下・感電・火災等の原因になります。

濡れた手で器具を操作しないでください。感電・故障の原因になります。

カバー、グローブ、枠、飾り等の着脱は、器具本体表示または本説明書に従って確実に行ってください。落下の原因になります。

器具に他の荷重をかけないでください。落下・感電・焼損の原因になります。

△警告

器具を布や紙等の可燃物で覆わないでください。また、燃えやすい物を近づけたり、異物を差込んだりしないでください。落下・感電・火災の原因になります。

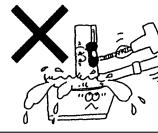
安全機構が付加されている場合は、必ず使用してください。落下・感電・火災の原因になります。

ランプ交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。

煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販売店、または当社もよりの支店にご相談ください。

△注意

器具、ランプの汚れは、乾いた布等で拭き取ってください。水洗いをしますと、感電・故障の原因になります。



■用語

一般通常環境

下記のような場所を除いた環境をさします。

1.周囲温度が20±15℃を超える場所。

2.粉じんが多い場所、振動が激しい場所、水中、機械、家具内。

3.可燃性ガス、腐食性ガス等の発生する場所。（炭鉱内、海岸地区、温泉地区、重工業地区等）

4.器具取付面に結露が発生する場所、手術室等の無菌室。

■保管

保管の際は下記の要領で行ってください。

購入時と同じ状態で梱包してください。

梱包ケースは、ケース表示に従い、正しい方向で保管してください。

梱包ケースの上に物を置かないでください。

梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。

常温20±15℃、常温65±20%の場所に保管してください。

■廃棄

使用済の照明器具は、所轄の地方自治体が定めた方法にもとづき、適正に処理してください。なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等をご使用ください。

■商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問い合わせ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは下記の相談窓口までご連絡ください。

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービスのご相談 (ダイコーエンジニアリング株式会社)
北海道地区	TEL(011)561-8067	TEL(011)561-8152
東北地区	TEL(022)284-5611	TEL(022)284-5611
東京地区	TEL(03)5600-7806	TEL(03)5600-3445
埼玉地区	TEL(048)652-1015	TEL(048)654-0261
横浜地区	TEL(045)941-6310	TEL(045)941-6331
中部地区	TEL(052)821-6276	TEL(052)821-7105
関西地区	TEL(072)965-3427	TEL(06)6731-1286
中四国地区	TEL(082)247-6711	TEL(082)246-2162
九州地区	TEL(092)531-3164	TEL(092)531-4744

電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。（平成19年4月1日現在）
本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル
TEL(06)6222-6240(代)

DCL-34227

屋内

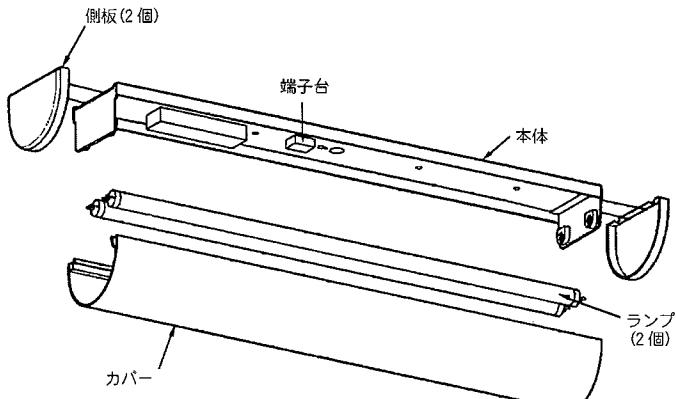
天井直付壁面取付兼用器具 111-03-34227C

仕様

- 屋内天井直付壁面取付兼用器具です。
- インバータ(50Hz, 60Hz 兼用)器具です。
- カバーはアクリル製です。取扱いは丁寧に行ってください。
- 木ネジ(3本)取付専用器具です。

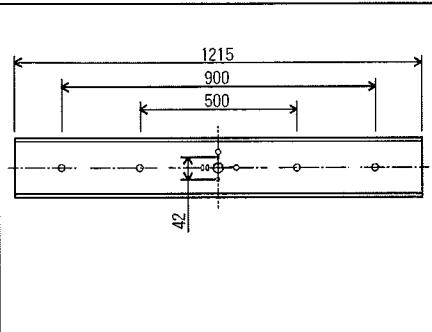
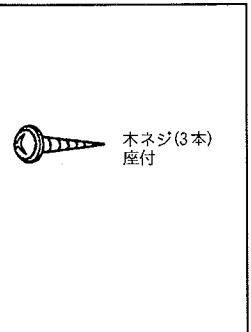
品番	DCL-34227
電源電圧	100V
消費電力	79W
入力電流	0.81A
力率	高力率
適合ランプ	高演色性昼白色蛍光灯 FL40SS・EX-N/37×2灯 G-13
器具重量	最大3.1kg
電源接続	端子台

各部の名称

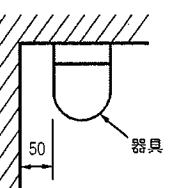


※上図は器具の一部を簡略化しております。

付属部品



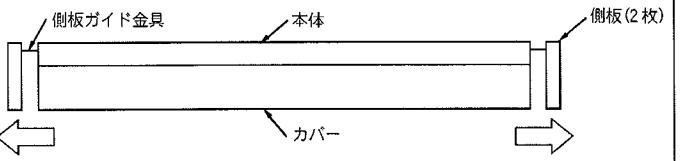
- 壁面近くの天井面に取付ける場合は必ずコーナー部より50mm以上離して取付けてください。



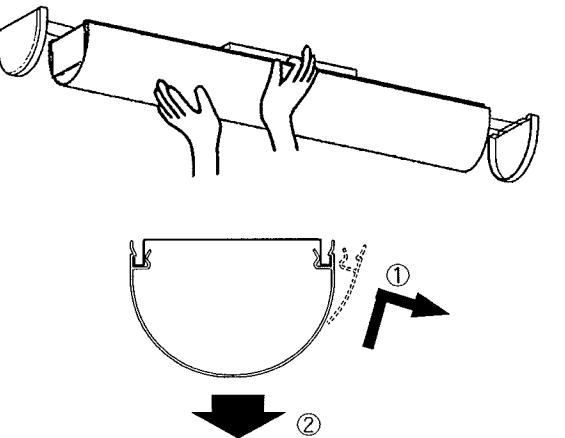
取付方法

1. カバーの取外し

- 側板(2個)を矢印の方向に引っ張ってください。
側板は取外せませんので、無理に引っ張らないでください。

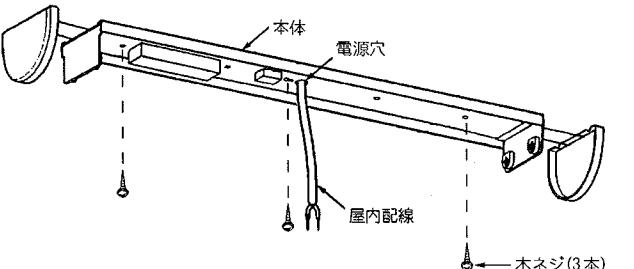


- カバーの本体中央部付近を持って作業を行なってください。
①カバーを押し上げながら片側の溝を本体からはずします。
②カバーを下に引いて取り外してください。



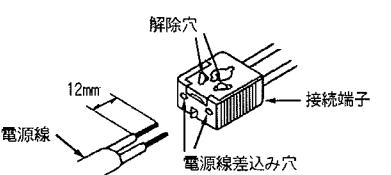
2. 本体の取付け

- 本体の電源穴に屋内配線を通し、木ネジ(3本)で天井面または壁面の補強材のある位置に取付けてください。
- センター穴のみで器具を取り付けますと、器具の落下及び騒音の原因となりますので、絶対に取付けないでください。
(仮止め専用穴)



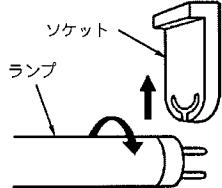
3. 電源の接続

- 屋内配線は適合電線をご使用ください。屋内配線はストリップゲージに合わせて、指定の長さに段むきしてください。
- 屋内配線は挿入面に直角に、奥まで確実に差し込んでください。
(一度引っ張り、接続の確認をしてください。)
接続後、屋内配線は器具から離して施工してください。
- 屋内配線を外す場合は、必ず電源を切ってから、解除穴に(一)ドライバー等を差みながら引き抜いてください。
- アースビスで、必ずD種(第三種)接地工事をしてください。



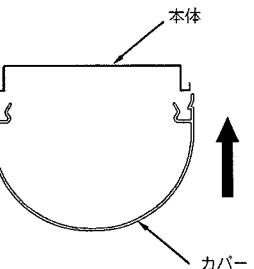
4. ランプの取付け

- ランプ(2個)をソケットにセットし、約90°回転させてください。
- ランプをセットした後、点灯の確認をしてください。

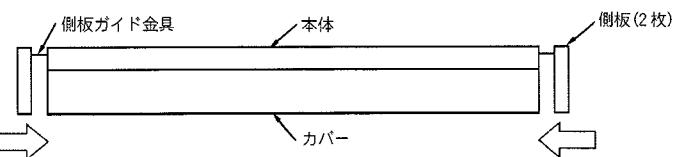


5. カバーの取付け

- 本体とカバーの溝を合わせるように、カバーを押し上げてください。



- 側板(2個)をスライドさせ、カバーにはめ込んでください。



6. 使用前の確認

- 取付状態・点灯状態を確認してください。

ご使用方法

- 点灯・消灯は、壁スイッチで操作してください。

おことわり

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因になります。
- インバータ器具の近くで、ラジオ(AM)を使用しないでください。雑音の原因になります。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分ですと、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。
- 点灯時、消灯後には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。

保守・点検

1. 6ヶ月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。点検は次の項目にもとづいて行ってください。

(1) 点検事項

- 正常に点灯していますか。
- スイッチは正常に切替えますか。
- 天井との取付け部、各部品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
- 可動部は異常なく動作しますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ、変形等が発生していませんか。

※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

(2) 清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	30°C~40°Cの薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

定期点検により発見された不具合のうち、消耗部品(ランプ、電池等)、交換部品(パネル、パッキン等)は、速やかに販売店、工事店にご相談のうえ、適合品と交換してください。

また、安定器、配線部品等は、定格電圧、常温、1日当たり10時間使用を想定した場合、約8~10年が交換の目安です。新規の器具と交換するか、または当社もよりの支店にご相談ください。